

Shin-ai Library通信

和歌山信愛中学校高等学校図書館 vol. 2(2022. 5. 27発行)

図書室中央に
展示中



新着図書紹介



『香君』(上・下) 上橋菜穂子著 文藝春秋

香りで万象を知るといふ活神(香君)がもたらした、オアレ稲という奇跡の稲。その稲をもちいて発展したウマル帝国で、あるとき稲に虫害が発生する。人並外れた嗅覚をもつ少女アイシャは、植物や昆虫など生き物の営みが発する香りを、(声)のように感じて生きている。アイシャは、虫害により食糧危機に陥った人々を救おうとするが、オアレ稲には大きな謎があるようで…
『精霊の守り人』『獣の奏者』『鹿の王』など、圧倒的スケールのファンタジーを生んできた著者が、7年ぶりに新たな世界を描く大注目作!



「おすすめミステリー」の
ブックリストができました!

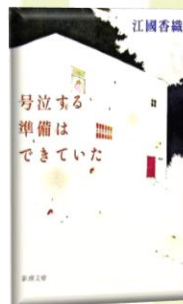


映画化やドラマ化で話題の作品、ミステリー大賞受賞作品、世界中で愛され続ける名著など、面白い推理小説が大集合! 予想外のどんでん返しに思わず「えっ…!」と絶句してしまったり、推理のゆくえ以上に気になるキャラクターの魅力が味わえたりと、一つ一つの作品の個性とその世界観を楽しんでみてください!



『#マイネーム』 黒川裕子著 さ・え・ら書房

両親の離婚によって名字が変わったばかりの明音(みおん)は、入学した杜ノ下(もりのした)中学校で行われている「さんづけ運動」によって、新しい名字が強調されることに抵抗感を持つ。そんなとき、SNSで「自分の名前がきらいなやつ集まれ #マイネーム」という地元中学生のスレッドに出会う。自分の本当に呼ばれたい名前の名札をつけようという呼びかけは、「杜中名札事件」を巻き起こす。明音たちの全力の現実逃避の行方は!? —「さあ、みんな、名を名乗れ!」



『号泣する準備はできていた』 江國香織著 新潮社

「直木賞受賞短編集」
濃密な恋のはじまり、満たされた日々。そして、それがそこなわれていく悲しみを描いた表題作。本書には全12篇のお話が入っています。著者の文章は私たちの本能を刺激し、切ないような、憎らしいような、いとおいしい気持ちと呼び起こします。あとがきで著者が語るように、私たちはみんな、「号泣する準備はできていた」のかもしれない。

『大人になるってどういうこと?』 神内聡著 くもん出版

「みんなで考えよう 18歳成人」
民法改正により、これからは高校3年生の中に「大人」が誕生します。「それって結局何が起こるの?」—本書は、大人とは何かという根本的なことにも触れ、さらに18歳成人によってできるようになること、それによって起こるトラブルについても具体的に扱います。契約・選択・責任…中高生に知っておいてほしい知識が詰まっています。



『推し活英語』 劇団雌猫監修 学研プラス

「推し」「神対応」「ガチ勢」って英語でなんていう?
本書は日米のオタクが本気で作った単語・フレーズ集とのこと! 海外アイドルの動画などで見かける英語表現の意味が分かれば推し活はもちろん英語の勉強だって今よりもっと楽しいかも!



『三十の反撃』 ソン・ウォンピョン著 祥伝社

2022年本屋大賞翻訳小説部門第1位!
非正規職の三十歳、キム・ジへは、ある出会いを機に社会への小さな反撃を開始する。「本当の自分」を見つめようとするジへを通して、現実の私たちが勇気と力をもらう。何かに悩むすべての人を、今よりも前向きな気持ちにしてくれるお話です。